

「就学前における親子に対する支援の現状と課題（一覧）【資料3 - 2】」
から抽出した優先度の高い課題

【資料3 - 1】
平成30年3月13日
第2回総合教育会議

公表用に一部文言を修正しています。

事業	課題
1歳6か月児健診（歯科） 3歳児健診（歯科） あだちっ子歯科健診	健診の結果、児童に多数のむし歯が見つかっていても未処置のままの世帯がある。 むし歯のある児童に対して、受診（治療）勧奨、再勧奨を行うも受診せず未処置のままの世帯がある。 【1歳6か月児健診】歯科医療機関受診未確認 10人 うち未処置歯5本以上 1人 【3歳児健診】歯科医療機関受診未確認 85人 うち未処置歯5本以上 27人
就学前施設への通園	園に通園をしてこない世帯がある。 生活リズムが不整な世帯がある。 改善を保育園より助言するも改善が難しい。
児童虐待相談	支援を拒否する家庭の存在 本人に相談ニーズがない家庭による支援の拒否。
気づきのしくみ	私立保育園の一部未実施 私立園は希望制のため、認可保育所全園実施には至っていない。
豆の木相談室	相談につながらない世帯がある。 メール相談の他は、相談時間が開庁時間に限定されており、相談できない、相談しづらい家庭もある。
生活保護受給世帯への家庭訪問 による子どもの現認	通常のケースワーク以外での支援が必要な世帯がある。 経済的支援の他に支援が必要と思われる家庭に対しては、ケースワーカーでは支援に限界がある。
A S M A P 事業における外国人 対応	アンケートが未記入、連絡がつかない世帯がある。 リスクアセスメントすら困難。 専門用語が伝わらない。 日本の健診や医療制度等の理解が得られにくい。 対応に通訳が必要（中国語・韓国語・タイ語・タガログ語・英語など）。
外国人相談・通訳派遣	通訳の利用に制限がある。 ・ 通訳がボランティアであるため、利用にはボランティアの対応可能な時間での予約が必要。 ・ 通訳を派遣できるのは、区の施設のみ。 ・ 庁内で常時対応できる言語は、英語、中国語、韓国語のみ。
日本語教室	ボランティアが行っている基礎的な日本語を習得するための教室で、高度な日本語の習得は難しい。